

ゲートウェイの挿入

この章では、シスコでサポートされるゲートウェイを Cisco Unified Communications Manager デー タベースに挿入する方法について説明します。

- Cisco VG200 ゲートウェイ用 CSV データ ファイルの作成, 1 ページ
- Cisco Catalyst 6000 (FXS) ポート用 CSV データ ファイルの作成, 4 ページ
- Cisco VG224 ゲートウェイとポートの CSV データ ファイルの作成, 5 ページ
- Cisco VG202 および VG204 ゲートウェイ用 CSV データ ファイルの作成, 8 ページ
- Cisco Unified Communications Manager へのゲートウェイとポートの挿入, 10 ページ

Cisco VG200 ゲートウェイ用 CSV データ ファイルの作成

CSVデータファイルを作成して、Cisco VG200 ゲートウェイとポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに挿入することができます。 BAT スプレッドシートまたはテキスト エディ タを使用して、CSV データファイルを作成します。

関連トピック

Cisco VG200 ゲートウェイ用のテキストベース CSV ファイルの作成 BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG200 ゲートウェイと T1 CAS、T1 PRI、E1 PRI、 FXS、または FXO ポートの CSV データ ファイルの作成, (1 ページ)

BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG200 ゲートウェイと T1 CAS、 T1 PRI、E1 PRI、FXS、または FXO ポートの CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、個々のT1 CAS、T1 PRI、E1 PRI、FXS、またはFXO ポートの詳細情報(たとえば、ドメイン名、MGCP説明、およびポート識別子)を含むCSVデータファイルを作成します。

T1 CAS の場合に限り、BAT スプレッドシートで指定するポートは、VG200 テンプレートに指定 されているポートと同じでなければなりません。CSVデータファイルでは、テンプレートで設定 されているポートは、「none」、「some」、または「all ports」と指定できます。テンプレート で設定されていないポートを、CSV データファイルで設定しないでください。BAT VG200 テン プレートおよび CSV ファイルを挿入しようとするとエラーが発生します。

たとえば、ポート1、2、3、および4をテンプレートで設定した場合、CSV ファイルでは、ポートを設定しない、ポート1、2、3、4を設定する、またはポート1と2のみを設定することはいずれも可能で、挿入は受け付けられます。ただし、CSV ファイルでポート5 および6を設定した場合、それらがテンプレートで設定されていないと、BAT で挿入エラーが発生します。

BAT スプレッドシートのゲートウェイポートのフィールドの編集が完了したら、ファイルをエク スポートします。このファイルは、次のデフォルト名で、C:\XLSDataFilesまたはローカル ワークステーション上の選択した別の既存フォルダに保存されます。

VG200Gateways#timestamp.txt

ここで、"timestamp"は、このファイルが作成された正確な日時を表します。



注目 いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポート するときに、そのフィールドエントリは二重引用符で囲まれます。 スプレッドシートにブラ ンク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。 ブランク行の後に 入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

- **ステップ1** BAT.xlt ファイルを検索し、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。
- **ステップ2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- **ステップ3** [VG200 T1-Pri T1-Cas E1-Pri FXSFXO] タブをクリックします。
- ステップ4 T1 CAS エンドポイントの場合に限り、[ポート数ID(Number of Port Identifiers)] フィールドが表示 されるまで右にスクロールします。 Cisco VG200 ゲートウェイごとに追加するポート識別子の数 を入力します。1つのポート識別子だけを使用する場合は、このステップをスキップしてください。
- **ステップ5** 各行に、次のフィールド用の情報を指定します。

I

表 1 : VG200 ゲートウェイ T1 CAS、T1-PRI	E1-PRI、FXS、	および <i>FX0</i> ポートのフ	ィールドの設定
----------------------------------	-------------	----------------------	---------

フィールド	説明
[MGCPドメイン名 (MGCP Domain Name)]	ゲートウェイを識別する名前を1~64文字で入力します。DNSホスト名が正しく解決するように設定されている場合は、そのホスト名を使用します。そのように設定されていない場合は、Cisco MGCPゲートウェイで定義されているとおりのホスト名を使用してください。ホスト名は Cisco IOS ゲートウェイ上で設定されているホスト名と正確に一致している必要があります。たとえば、ホスト名が vo200-1 に
	解決されるようにゲートウェイ上で設定され、IPドメイン名が設定されていない場合、このフィールドには、そのホスト名を入力します (この場合、「vg200-1」)。ホスト名がvg200-1としてゲートウェイ 上で設定され、IPドメイン名が cisco.com としてゲートウェイ上で設 定されている場合、このフィールドには「vg200-1.cisco.com」と入力 します。
[MGCPの説明(MGCP Description)]	ゲートウェイの説明を100文字以下で入力します。ゲートウェイの検索に役立つ固有の説明を使用します。
[ポートの説明(Port Description)]	ポート1の説明を50文字以下で入力します。ポートのリスト内でポートの識別に役立つ説明を使用します。この要件は、ポート2〜ポート4の[説明(Description)]フィールドに入力する場合にも当てはまります。
[ポートの電話番号(Port Directory Number)]	このポートの電話番号を、24桁以下の数字と特殊文字で入力します。 この要件は、ポート2~ポート4の[電話番号(Directory Number)]フィー ルドに入力する場合にも当てはまります。
	注目 [ポート1の電話番号(Port 1 Directory Number)] フィールドと [パーティション(Partition)] フィールドが必要なのは FXS ポー トだけです。 FXO ポートでは、これらのフィールドはブラン クのままにします。
[スロット(Slot)]	設定を試みているスロット番号を入力します。VG200の場合は、常に 1です。
[サブユニット(Subunit)]	サブユニットの値を表す整数を入力します。
[ポート番号(Port Number)]	ポート番号を表す整数を入力します。

ステップ6 [BAT形式にエクスポート(Export to BAT Format)] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送します。

このファイルは、デフォルトのファイル名(vg200Gateways#timestamp.txt)で、C:\XLSDataFiles またはローカル ワークステーション上の選択した別の既存フォルダに保存されます。ここで、 "timestamp"は、このファイルが作成された正確な日時を表します。

 (注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [ゲート ウェイの挿入(Insert Gateways)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示(View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

次の作業

CSV データファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ入力ファイルにアクセスできるようにする必要があります。

関連トピック

CSV データファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集 T1 CAS トランク、T1 PRI トランク、または E1 PRI トランクのファイル形式 FXO トランクまたは FXS トランクの CSV ファイル形式 ファイルのアップロードとダウンロード

Cisco Catalyst 6000 (FXS) ポート用 CSV データ ファイル の作成

CSV データ ファイルを作成して、Cisco Catalyst 6000 (FXS) ポート (ポートの電話番号や説明な ど)を Cisco Unified Communications Manager データベースに挿入することができます。 BAT スプ レッドシートまたはテキスト エディタを使用して、CSV データ ファイルを作成します。

- **ステップ1** BAT.xlt ファイルを見つけ、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。
- **ステップ2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- **ステップ3** [Catalyst 6000 (FXS)ポート(Catalyst 6000 (FXS) Ports)] タブをクリックします。
- ステップ4 ポート レコードそれぞれの情報を1行に入力します。 すべての必須フィールド、および該当するオプションフィールドに値を入力します。各欄の見出 しは、フィールドの長さを指定しています。
 - ・[MACアドレス(MAC Address)]:ゲートウェイの MAC アドレスを 12 文字で入力します。
 - [ポート番号(Port Number)]:ゲートウェイに追加するポート番号(1~24)を数値で入力します。

- 「電話番号(Directory Number)]:このポートの電話番号を24桁以下の数字と特殊文字で入力します。[パーティション(Partition)]を指定した場合は、この値を必ず入力してください(オプション)。
- [パーティション(Partition)]: このポートが属するルートパーティションを 50 文字以下で入力します。電話番号を指定している場合以外は、この値を指定しないでください(オプション)。
- **注意** スプレッドシート内のブランク行は End of File (ファイルの終わり) として扱われ、それ 以降のレコードは廃棄されます。
- ステップ5 [BAT形式にエクスポート(Export to BAT Format)] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送します。 このファイルは、C:\XLSDataFiles\または選択した別の既存フォルダに保存されます。
 - (注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [ゲート ウェイの挿入(Insert Gateways)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示(View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

次の作業

CSV データファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ入力ファイルにアクセスできるようにする必要があります。詳細については、ファイルのアップロードとダウンロードを参照してください。

関連トピック

CSV データ ファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集 Cisco Catalyst 6000 FXS ポート用のテキストベース CSV ファイルの作成 ファイルのアップロードとダウンロード

Cisco VG224 ゲートウェイとポートの CSV データ ファイ ルの作成

CSV データ ファイルを作成して、VG224 ゲートウェイとポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに挿入することができます。 BAT スプレッドシートまたはテキスト エディ タを使用して、CSV データ ファイルを作成します。

関連トピック

BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG224 FXS ゲートウェイおよびポート用 CSV データ ファイルの作成, (6ページ) Cisco VG224 ゲートウェイ用のテキストベース CSV ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG224 FXS ゲートウェイおよび ポート用 CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、個々の FXS ポートの詳細情報(ドメイン名、MGCP 説明、 ポート識別子など)を含む CSV データ ファイルを作成します。

BAT スプレッドシートのゲートウェイポートのフィールドの編集が完了したら、ファイルをエク スポートします。このファイルは、次のデフォルト名で、C:\XLSDataFilesまたはローカル ワークステーション上の選択した別の既存フォルダに保存されます。

VG224Gateways#timestamp.txt

ここで、"timestamp"は、このファイルが作成された正確な日時を表します。

\mathcal{P}

ト いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xltを使用してBAT形式にエクスポート するときに、そのフィールドエントリは二重引用符で囲まれます。スプレッドシートにブラ ンク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。ブランク行の後に 入力されたデータは、BAT形式には変換されません。

- ステップ1 BAT.xlt ファイルを検索し、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。
- **ステップ2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- **ステップ3** [VG224] タブをクリックします。
- ステップ4 MGCP プロトコルの場合は [MGCP] オプションボタンを、SCCP プロトコルの場合は [SCCP] オプ ションボタンをクリックします。
- **ステップ5** 次のいずれかを実行します。
 - a) MGCPを選択した場合は、ステップ6, (7ページ) に進みます。
 - b) SCCP を選択した場合は、[ファイル形式の作成(Create File Format)] ボタンがスプレッドシート に表示されます。
 - 1 [ファイル形式の作成(Create File Format)] をクリックします。[フィールドの選択(Field Selection)] ウィンドウが表示されます。
 - [デバイスフィールド(Device Fields)]ボックスから必要なデバイスフィールドを選択し、[>>] ボタンをクリックして、選択したフィールドを[選択済みのデバイスフィールド(Selected Device Fields)]ボックスに移動します。
 - **3** [回線フィールド(Line Fields)] ボックスから回線フィールドを選択し、[>>] ボタンをクリッ クして、選択したフィールドを [選択済みの回線フィールド(Selected Line Fields)] ボックス に移動します。
 - 4 選択済みのフィールドの順序を変更するには、[上へ(Up)] ボタンおよび [下へ(Down)] ボタンを使用します。

- 5 [<<] ボタンをクリックすると、選択済みのフィールドのリストからフィールドを削除できます。
- 6 必要なフィールドの選択が終わったら、[作成(Create)]をクリックして、選択済みのフィー ルドを VG224 シートに追加します。
- ステップ6 各行に、次のフィールド用の情報を指定します。
 - 「ドメイン名(Domain Name)]:ゲートウェイを識別する名前を1~64文字で入力します。DNS ホスト名が正しく解決するように設定されている場合は、そのホスト名を使用します。その ように設定されていない場合は、Cisco MGCPゲートウェイで定義されているとおりのホス ト名を使用してください。
 ホスト名は Cisco IOS ゲートウェイ上で設定されているホスト名と正確に一致している必要 があります。たとえば、ホスト名が vg224-1 に解決されるようにゲートウェイ上で設定され、IP ドメイン名が設定されていない場合、このフィールドには、そのホスト名を入力しま す(この場合、「vg224-1」)。ホスト名が vg224-1 としてゲートウェイ上で設定され、IP ドメイン名が cisco.com としてゲートウェイ上で設定されている場合、このフィールドには 「vg224-1.cisco.com」と入力します。
 - •[説明(Description)]:ゲートウェイの説明を100文字以下で入力します。ゲートウェイの検索 に役立つ固有の説明を使用します。
 - 「ポートの説明(Port Description)]: ポート1の説明を50文字以下で入力します。ポートのリスト内でポートの識別に役立つ説明を使用します。この要件は、ポート2~ポート4の[説明(Description)]フィールドに入力する場合にも当てはまります。
 - 「ポートの電話番号(Port Directory Number)]:このポートの電話番号を24桁以下の数字と特殊 文字で入力します。この要件は、ポート2~ポート4の[電話番号(Directory Number)]フィー ルドに入力する場合にも当てはまります。
 - (注) [ポート1の電話番号(Port 1 Directory Number)] フィールドと[パーティション(Partition)]
 フィールドが必要なのはFXS ポートだけです。FXO ポートでは、これらのフィー
 ルドはブランクのままにします。
 - •[スロット2(Slot 2)]:設定を試みているスロット番号を入力します。 VG224 の場合、スロットは常に 2 です。
 - •[サブユニット(Subunit)]:サブユニットの値を表す整数を入力します。 VG224 の場合、サブ ユニットは常に0です。
 - •[ポート番号(Port Number)]:ポート番号を表す整数を入力します。
- ステップ7 [BAT形式にエクスポート(Export to BAT Format)] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送します。
 このファイルは、デフォルトのファイル名(VG224Gateways#timestamp.txt)で、C:\XLSDataFilesまたはローカル ワークステーション上の選択した別の既存フォルダに保存されます。
 - (注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [ゲート ウェイの挿入(Insert Gateways)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示(View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

次の作業

CSV データファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ入力ファイルにアクセスできるようにする必要があります。

関連トピック

CSV データ ファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集 VG224 用の FXS トランク CSV ファイル形式 ファイルのアップロードとダウンロード

Cisco VG202 および VG204 ゲートウェイ用 CSV データ ファ イルの作成

CSV データ ファイルを作成して、VG202 と VG204 のゲートウェイとポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに挿入することができます。 BAT スプレッドシートまたは テキスト エディタを使用して、CSV データ ファイルを作成します。

関連トピック

BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG202 および VG204 FXS ゲートウェイおよびポート 用 CSV データ ファイルの作成, (8 ページ) Cisco VG202 および VG204 ゲートウェイ用のテキストベース CSV ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用した Cisco VG202 および VG204 FXS ゲート ウェイおよびポート用 CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、個々の FXS ポートの詳細情報(ドメイン名、MGCP 説明、 ポート識別子など)を含む CSV データ ファイルを作成します。

BAT スプレッドシートのゲートウェイポートのフィールドの編集が完了したら、ファイルをエク スポートします。このファイルは、次のデフォルト名で、C:\XLSDataFilesまたはローカル ワークステーション上の選択した別の既存フォルダに保存されます。

VG202Gateways#timestamp.txt または VG204Gateways#timestamp.txt

ここで、"timestamp"は、このファイルが作成された正確な日時を表します。



>ト いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xltを使用して BAT 形式にエクスポート するときに、そのフィールドエントリは二重引用符で囲まれます。 スプレッドシートにブラ ンク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。 ブランク行の後に 入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

手順

- **ステップ1** BAT.xlt ファイルを検索し、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。
- **ステップ2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ3 [VG202-VG204] タブをクリックします。
- ステップ4 MGCPの場合は[MGCP]オプションボタンを、SCCPの場合は[SCCP]オプションボタンをクリックします。
- ステップ5 次のいずれかを実行します。
 - a) MGCP を選択した場合は、ステップ 6, (9ページ) に進みます。
 - b) SCCP を選択した場合は、[ファイル形式の作成(Create File Format)] ボタンがスプレッドシート に表示されます。
 - 1 [ファイル形式の作成(Create File Format)] をクリックします。[フィールドの選択(Field Selection)] ウィンドウが表示されます。
 - [デバイスフィールド(Device Fields)]ボックスから必要なデバイスフィールドを選択し、[>>] ボタンをクリックして、選択したフィールドを[選択済みのデバイスフィールド(Selected Device Fields)]ボックスに移動します。
 - **3** [回線フィールド(Line Fields)] ボックスから回線フィールドを選択し、[>>] ボタンをクリッ クして、選択したフィールドを [選択済みの回線フィールド(Selected Line Fields)] ボックス に移動します。
 - 4 選択済みのフィールドの順序を変更するには、[上へ(Up)] ボタンおよび [下へ(Down)] ボタンを使用します。
 - 5 [<<] ボタンをクリックすると、選択済みのフィールドのリストからフィールドを削除できます。
 - 6 必要なフィールドの選択が終わったら、[作成(Create)]をクリックして、選択済みのフィー ルドを VG224 シートに追加します。
- **ステップ6** 各行に、次のフィールド用の情報を指定します。
 - [ドメイン名/MACアドレス(Domain Name/MAC Address)]: ゲートウェイを示す1~64 文字の 名前を入力します。DNSホスト名が正しく解決するように設定されている場合は、そのホ スト名を使用します。そのように設定されていない場合は、Cisco MGCP ゲートウェイで定 義されているとおりのホスト名を使用してください。SCCP ゲートウェイの場合は、MACア ドレスを使用します。 ホスト名は Cisco IOS ゲートウェイ上で設定されているホスト名と正確に一致している必要

があります。 たとえば、ホスト名が vg204-1 に解決されるようにゲートウェイ上で設定され、IP ドメイン名が設定されていない場合、このフィールドには、そのホスト名を入力しま す(この場合、「vg204-1」)。 ホスト名が vg204-1 としてゲートウェイ上で設定され、IP ドメイン名が cisco.com としてゲートウェイ上で設定されている場合、このフィールドには 「vg204-1.cisco.com」と入力します。

•[説明(Description)]:ゲートウェイの説明を100文字以下で入力します。ゲートウェイの検索 に役立つ固有の説明を使用します。

- •[スロット(Slot)]:設定を試みているスロット番号を入力します。 VG202 および VG204 の場合、スロットは常に0です。
- [サブユニット(Subunit)]: サブユニットの値を表す整数を入力します。 VG202 および VG204 の場合、サブユニットは常に0です。
- 「ポートの電話番号(Port Directory Number)]:このポートの電話番号を24桁以下の数字と特殊 文字で入力します。この要件は、ポート2~ポート4の[電話番号(Directory Number)]フィー ルドに入力する場合にも当てはまります。
 - (注) [ポート1の電話番号(Port 1 Directory Number)] フィールドと[パーティション(Partition)] フィールドが必要なのは FXS ポートだけあることに注意してください。
- •[ポート番号(Port Number)]:ポート番号を表す整数を入力します。
- 「ポートの説明(Port Description)]: ポート1の説明を50文字以下で入力します。ポートのリスト内でポートの識別に役立つ説明を使用します。この要件は、ポート2~ポート4の[説明(Description)]フィールドに入力する場合にも当てはまります。
- ステップ7 [BAT形式にエクスポート(Export to BAT Format)] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送します。 このファイルは、デフォルトのファイル名(VG202Gateways#timestamp.txt または VG204Gateways#timestamp.txt)で、ローカル ワークステーション上の C:\XLSDataFiles また は選択した別の既存フォルダに保存されます。
 - (注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [ゲート ウェイの挿入(Insert Gateways)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示(View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

次の作業

CSV データファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ入力ファイルにアクセスできるようにする必要があります。

関連トピック

CSV データ ファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集 VG202 および VG204 ゲートウェイ用の CSV ファイル形式 ファイルのアップロードとダウンロード

Cisco Unified Communications Manager へのゲートウェイ とポートの挿入

BAT スプレッドシートを使用して、シスコのゲートウェイとポートを Cisco Unified Communications Manager に追加することができます。

はじめる前に

- Cisco VG200 ゲートウェイを挿入する場合は、トランクまたはポートの Cisco VG200 ゲート ウェイ テンプレートと VG200 ゲートウェイ ポートの CSV データ ファイルが必要です。詳 細については、Cisco VG200 ゲートウェイ テンプレートの作成とCisco VG200 ゲートウェイ 用 CSV データ ファイルの作成、(1ページ)を参照してください。
- Cisco Catalyst 6000 Port を挿入する場合は、Cisco Catalyst 6000 Ports テンプレートと、このバルクトランザクションに関するポートの詳細を含む CSV データファイルが必要です。詳細については、Cisco Catalyst 6000 (FXS) ゲートウェイ テンプレートの作成とCisco Catalyst 6000 (FXS) ポート用 CSV データファイルの作成、(4ページ)を参照してください。
- Cisco VG224 ゲートウェイを挿入する場合は、トランクまたはポートの Cisco VG224 ゲート ウェイ テンプレートと VG224 ゲートウェイ ポートの CSV データ ファイルが必要です。詳 細については、Cisco VG200 ゲートウェイ テンプレートの作成とCisco VG200 ゲートウェイ 用 CSV データ ファイルの作成、(1ページ)を参照してください。
- Cisco VG202 または VG204 ゲートウェイを挿入する場合は、トランクまたはポートの Cisco VG202 または VG204 ゲートウェイ テンプレートと、VG202 または VG204 ゲートウェイ ポートの CSV データ ファイルが必要です。詳細については、Cisco VG202 または VG204 ゲートウェイ テンプレートの作成とCisco VG202 および VG204 ゲートウェイ用 CSV データ ファイルの作成, (8 ページ)を参照してください。

ステップ1	[一括管理(Bulk Administration)]>[ゲートウェイ(Gateways)]>[ゲートウェイの挿入(Insert Gateways)]の順に選択します。
	[ゲートウェイの挿入(Insert Gateways Configuration)] ウィンドウが表示されます。
ステップ 2	[ゲートウェイタイプ(Gateway Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、挿入するゲートウェ イのタイプを選択します。
	[ゲートウェイの挿入(Insert Gateway Configuration)] ウィンドウが表示されます。
ステップ 3	[ファイル名(File Name)] フィールドのドロップダウン リスト ボックスで、追加する Cisco VG200 ゲートウェイ情報が格納されている CSV データ ファイルの名前を選択します。
ステップ4	[ゲートウェイテンプレート名(Gateway Template Name)] フィールドで、このタイプのバルク トラ ンザクション用に作成した VG200 または FXS ゲートウェイ テンプレートの名前を選択します。
ステップ5	[既存の設定の上書き(Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存の ゲートウェイの設定が、挿入するファイルに含まれている情報によって上書きされます。
ステップ6	[ジョブ情報(Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
ステップ 1	挿入の方法を選択します。 次のいずれかを実行します。
	a) ゲートウェイをすぐに挿入する場合は、[今すぐ実行(Run Immediately)] をクリックします。
	b) ゲートウェイを後で挿入する場合は、[後で実行(Run Later)] をクリックします。
ステップ8	[送信(Submit)] をクリックして、ゲートウェイを挿入するジョブを作成します。

1

[一括管理(Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ(Job Scheduler)] オプション を使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

関連トピック

BAT ログ ファイル ジョブのスケジュール